

2021年3月期 第2四半期決算説明資料

2020年11月9日



エムケー精工株式会社

証券コード: 5906



2021年3月期 第2四半期の決算概要

2021年3月期 第2四半期の総括

■ 業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景況は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は、段階的な経済活動の再開とともに景気は持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症が国内外経済を下振れさせるリスクや、金融資本市場の変動の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する業界におきましても、総じて新型コロナウイルスの影響を受け、移動制限や各種イベントの中止・縮小など、営業活動の制限を余儀なくされました。オート機器及び情報機器の分野では、設備投資に慎重な姿勢が見られ、また、生活機器の分野では、巣ごもり需要の増加により一部押し上げ効果が見られたものの、市場の伸び悩みや激しい価格競争が続いており、厳しい経営環境となっております。

こうした状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先課題として、お客様、お取引先様はもとより、社員及びその家族の健康保持と安全確保に努め、在宅勤務やリモート会議・研修を積極的に活用するとともに、サプライチェーンの見直しによる最適化・効率化を図り、感染拡大防止と事業継続の両立を進めてまいりました。また、中期経営計画2年目となる今年度は、中期経営計画に掲げた方針に沿って、諸施策を着実に遂行することを基本としつつ、「美・食・住」を軸とした更なる成長ステージへ向けて、モノづくりとサービスの融合による顧客価値の追求と、需要の変化を見極めた新商品の開発及びサービスのデザイン並びに新たな事業の創出にグループ一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は120億2百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は8億1千1百万円(前年同期比29.7%増)、経常利益は8億6千7百万円(前年同期比34.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億9千7百万円(前年同期比34.1%増)となりました。

2021年3月期 第2四半期の業績

<連結業績>

単位:百万円

	2020年9月期	2019年9月期	対前期比
売上高	12,002	11,912	100.8%
営業利益	811	625	129.7%
経常利益	867	646	134.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	497	371	134.1%

2021年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位：千円

	2020年9月期	2019年9月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	15,549,166	14,697,732	851,433
現金及び預金	3,373,850	2,948,408	425,441
受取手形及び売掛金	6,150,321	5,661,046	489,275
たな卸資産	5,765,267	5,909,398	△144,130
その他の流動資産	259,726	178,879	80,846
固定資産	11,294,557	11,777,001	△ 482,443
有形固定資産	6,711,861	6,852,563	△ 140,702
無形固定資産	2,060,306	2,086,760	△ 26,453
投資その他の資産	2,522,389	2,837,677	△ 315,287
資産合計	26,843,723	26,474,733	368,989

2021年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位：千円

	2020年9月期	2019年9月期	増減額
(負債の部)			
流動負債	11,894,467	11,809,930	84,537
支払手形及び買掛金	1,544,782	1,526,327	18,455
短期借入金	4,840,000	4,075,000	765,000
1年内返済予定の長期借入金	681,576	1,573,786	△892,210
未払金	3,556,346	3,308,528	247,817
その他の流動負債	1,271,762	1,326,288	△54,525
固定負債	3,054,306	3,100,051	△45,744
長期借入金	2,182,736	2,159,312	23,424
その他の固定負債	871,570	940,739	△69,168
負債合計	14,948,774	14,909,981	38,792

2021年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位: 千円

	2020年9月期	2019年9月期	増減額
(純資産の部)			
株主資本	11,553,676	11,106,396	447,279
資本金	3,373,552	3,373,552	—
資本剰余金	2,947,095	2,947,095	—
利益剰余金	5,725,434	5,278,155	447,279
自己株式	△ 492,406	△ 492,406	—
その他の包括利益累計額	341,272	458,355	△ 117,082
その他有価証券評価差額金	360,968	374,191	△ 13,222
繰延ヘッジ損益	△ 901	1,359	△ 2,261
為替換算調整勘定	△ 20,822	△ 21,171	348
退職給付に係る調整累計額	2,028	103,975	△ 101,947
純資産合計	11,894,949	11,564,752	330,196
負債純資産合計	26,843,723	26,474,733	368,989

2021年3月期 第2四半期連結損益計算書

単位: 千円

	2020年9月期	2019年9月期	増減額
売上高	12,002,308	11,912,768	89,539
売上原価	7,937,168	7,853,845	83,322
売上総利益	4,065,140	4,058,923	6,216
販売費及び一般管理費	3,253,943	3,433,252	△ 179,309
営業利益	811,196	625,670	185,525
営業外収益	95,151	66,111	29,039
営業外費用	38,817	44,894	△ 6,076
経常利益	867,529	646,888	220,641
特別利益	—	6,081	△ 6,081
特別損失	21,781	3,441	18,340
税金等調整前四半期純利益	845,748	649,528	196,219
法人税等及び法人税等調整額	347,886	278,232	69,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	497,861	371,296	126,565

2021年3月期 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

	2020年9月期	2019年9月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△527,143	△290,907	△266,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,620	△419,035	204,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,020,854	646,187	374,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,686	△2,643	△43
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	276,403	△66,398	342,802
現金及び現金同等物の期首残高	1,412,172	1,374,418	37,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,688,575	1,308,019	380,556

2021年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

＜2020年3月21日から2020年9月20日まで＞

単位：千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2020年3月21日残高	3,373,552	2,947,095	5,343,891	△492,406	11,172,132
当第2四半期連結累計期間中 の変動額					
剰余金の配当			△ 116,318		△ 116,318
親会社株主に帰属する 四半期純利益			497,861		497,861
株主資本以外の項目の 当期間中の変動額(純額)					
当第2四半期連結累計期間中 の変動額合計	—	—	381,543	—	381,543
2020年9月20日残高	3,373,552	2,947,095	5,725,434	△ 492,406	11,553,676

2021年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

単位：千円

	その他の包括利益累計額					純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額 合計	
2020年3月21日残高	151,843	2,946	1,443	3,744	159,977	11,332,110
当第2四半期連結累計期間 中の変動額						
剰余金の配当						△ 116,318
親会社株主に帰属する 四半期純利益						497,861
株主資本以外の項目の 当期間中の変動額(純額)	209,125	△ 3,847	△ 22,266	△ 1,716	181,295	181,295
当第2四半期連結累計期間 中の変動額合計	209,125	△ 3,847	△ 22,266	△ 1,716	181,295	562,838
2020年9月20日残高	360,968	△ 901	△ 20,822	2,028	341,272	11,894,949

セグメント別分析

■ モビリティ&サービス事業

主力の門型洗車機は、SS(サービス・ステーション)向けでは、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底しながら、提案型営業活動を積極的に展開した結果伸長しましたが、カーディーラー向けでは、投資抑制により前年度とほぼ同水準で推移しました。オイル機器は、コロナ禍による感染予防のためのピット作業縮小の影響を受け、エアコンプレッシャー等の整備機器需要が減少し、前年実績を大きく下回りました。情報機器では、一般店舗向け小型表示機は、新型コロナウイルスの影響により前年実績を大きく下回ったものの、SS向けの価格看板や工事用保安機器は、期初の受注残が売上げに寄与したほか、販売チャネルの活用が奏功し伸長しました。

その結果、売上高は前年同期比1.5%減の79億9千1百万円となりました。



ドライブスルー門型洗車機



SS向け価格看板とフルカラー表示機

セグメント別分析

■ ライフ&サポート事業

主力製品の農家向け低温貯蔵庫は、新型コロナウイルスの影響による展示会中止があったものの、堅調に推移しました。また、一般家庭向けの電子レンジ置台、小型保冷米びつ及びパン焼き機は、巣ごもり需要の増加によりインターネット販売を中心に好調に推移し、音響関連も新商品の投入により売上げを伸ばしました。一方、食品加工機及び攪拌機は、新型コロナウイルスの影響により、十分な営業活動ができず苦戦しました。

その結果、売上高は前年同期比16.4%増の30億2千6百万円となりました。



パン焼き機



小型保冷米びつ

セグメント別分析

■ 住設機器事業

住設機器としては、主に木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置、鋼製防火扉等を製造・販売しております。新型コロナウイルス感染拡大は建設業界にも大きな影響を与えており、現場工程の遅延や納期変更、資材調達の滞りなどが懸念される状況にあります。当社への影響が最小限に抑えられるよう、安定した受注確保・拡大を図るとともに、受注物件のコスト管理を徹底し利益改善に努めておりますが、工事遅延や売上計上の下期へのずれ込みが生じました。

その結果、売上高は前年同期比14.7%減の9億4千8百万円となりました。



アルタスウッドスクリーンの施工例

セグメント別分析

■ その他の事業

保険代理業、不動産管理・賃貸業及び長野リンデンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策を徹底し、営業を継続してまいりました。7月後半から「Go Toトラベル事業」がスタートしたものの効果は限定的で、大都市圏からのビジネス客の減少や各種イベントの開催中止・縮小が相次ぎ、極めて厳しい経営環境が続いております。

その結果、売上高は前年同期比60.2%減の3千5百万円となりました。



長野リンデンプラザホテル

2021年3月期 業績・配当予想

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2021年3月期の業績予想

<連結業績>

単位：百万円

	2021年3月期(予想)	2020年3月期(実績)	対前期比
売上高	24,500	24,385	100.5%
営業利益	1,050	1,011	103.8%
経常利益	1,100	1,060	103.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	600	437	137.3%

2021年3月期の配当予想

当社グループは、株主各位への利益還元を重要な政策と位置づけ、今後の事業展開を念頭に財務体質の強化のための内部留保とのバランスを考慮した利益配分を基本方針としております。

2021年3月期における1株当たりの年間配当予想は以下のとおりです。

<1株当たり年間配当金>

	1株当たり期末配当金
2021年3月期(予想)	8円00銭
2020年3月期(実績)	8円00銭

参 考 資 料

当社の経営方針

当社グループは、2018年7月に迎えた創立70周年を機に、第二創業としての強い攻めの気持ちをもって、中期経営計画策定、M&A、生産設備やIT基盤への投資、労働環境の改善など、成長ステージに向けての施策を講じてきました。そして、この施策の一環として、当社グループの理念たるビジョン、ミッション等を次のように定め共有いたしました。

- ・ ビジョン 「今までにない、いどり豊かなシーンを広げる。」
- ・ ミッション 「これが欲しかった！を、アイデアで次々に実現する。」
- ・ スローガン 「その手があった！の一手先。」

この理念のもと、これまでのモノづくりの実績を踏まえた上で、持てるネットワークと資源の全体最適を図りながら、新たな成長フェーズへと実績を積み上げてまいります。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に係る影響や世界経済の不確実性など、先行き不透明な状況にあり、当社グループ関連業界におきましても厳しい経営環境が続くものと予想されます。

時々刻々と変化する経営環境にあって、当社グループは変革の時を迎えた今、更なる成長ステージへ向けて以下の課題に取り組んでまいります。

① 顧客価値の追求

モノづくりとサービスを通じた顧客価値を追求し、当社グループのスローガン「その手があった！の一手先。」の姿を具現化する。

② 健康経営の推進

健康は個々人の幸せの礎であり、社員とその家族の健康は会社が成長し社会的責務を果たすための源である。健康を経営の最重要課題の一つと捉え、社員とその家族の心身の健康を保持・増進する健康経営に取り組む。

③ “美・食・住”の3領域の拡大

SDGsを含む様々な社会的な課題を“美・食・住”の視点から探求し、その解決に向け、当社グループをあげて新しい事業、商品及びサービスをデザインする。

対処すべき課題

④ ブランドの強化

社外向けコーポレートブランディング、当社グループ内のインナーブランディング及び採用ブランディングを通じて、魅力あるモノづくり集団としての当社グループの一層の認知度向上を図る。

⑤ 意識行動の変革

創立70周年を機に刷新した当社グループの理念を全社員が共有し、意識行動の変革を通じて、研究開発型の完成品メーカーとして社会に貢献する企業グループの進化を図る。

⑥ 経営インフラの強化

当社グループを支える人材、財務、IT、生産ラインといった経営インフラを、グループ全体の最適化を踏まえながら整備し強化する。

研究開発活動

市場ニーズが多様化する中、「良いモノをつくれれば売れる」といった単純な時代が終焉を迎えて久しいときが経っております。「お客様が本当に困っていることはなにか」、「困っていても現状に甘んじていることはなにか」、さらに言えば「お客様自身でさえ気がついていないような『こんなものがほしかった！』といったものはないのか」、研究開発においてもそういったマーケティング思考が極めて重要になっております。

当社は、「その手があつた！の一手先。」といったコーポレートスローガンを掲げ、「お客様に寄り添うメーカー」から「お客様にとって、なくてはならないメーカー」を目指して、あらゆる研究開発活動を進めてまいります。

研究開発活動

■ モビリティ&サービス事業

門型洗車機では、ドライブスルー洗車の顧客囲い込みツールとして洗車用スマートフォンアプリ「wash WALLET」を開発しました。また、洗車注文機にキャッシュレス決済用端末を搭載できるようにしました。

大型車両用洗車機では、車両が自走して洗浄する洗車機固定式タイプ2機種（トップブラシ付きとトップブラシ無し）を開発しました。

スプレー洗車機では、ボイラー式スターフレッシャーに、熱効率が良く排気筒の取り付けが可能な密閉管体ボイラーを2基搭載し、高温高吐出としたハイパワータイプを開発しました。

灯油配送ローリーでは、ゼンマイリール搭載の小型トラック用機種を開発しました。

民需向け情報機器では、サービス・ステーション向けに、店舗の中から外の景色が透過して見える採光ビジョンを開発しました。

また、工事用表示機分野では、開発したフルカラー表示機が国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）に登録されました。

研究開発活動

■ ライフ&サポート事業

農業資材分野では、販売が好調な黒にんにくメーカーを利用して、黒らっきょうを作るために便利なトレイをオプション品として開発しました。

家電分野では、巣ごもり需要の増加を受けて、木製せいろによる本格的蒸し料理を家庭でも手軽に楽しめる電気せいろを開発しました。また、容量増大ニーズに応えて、前年度に発売した電気圧力鍋の4Lモデルを開発しました。小型精米機は、白米からの無洗米研ぎ機能を追加するとともに、連続使用できる回数を増やした新モデルを開発しました。

収納分野では、電子レンジ置台の新モデルを開発しました。

音響機器分野では、周囲の音や会話を聞き取りやすくする集音器「イヤーフォースミニ」、「イヤーフォースポケット」の追加モデルを開発しました。

食品加工機械分野では、コンベアベルト（抗菌仕様）の交換・洗浄を容易にすることで衛生面により一層配慮するとともに、遠隔許可操作ボタンを設けることで安全面を向上させた軽量・コンパクトモデルとして、新デポジター「ゼウス」を開発しました。

研究開発活動

■ 住設機器事業

アルタス断熱カーテンウォールシリーズでは、断熱材の性能を高めた高断熱カーテンウォールを開発しました。

アルタスウッドウィンドウシリーズのワイドネスでは、窓の大型化の需要に対応すべく、厚板複層ガラスが入るアルミ框タイプを商品ラインナップに加え、メンテナンスを含むアフターサービスの充実を進めております。

新製品情報

■ モビリティ&サービス事業

【ドライブスルー門型洗車機 レグロスG [XS-904]】

新形状のトップパネルに高輝度LEDディスプレイを搭載。動画を駆使した多彩な表現で、人とコミュニケーションをとるように洗車機への安全な入庫サポートや、待機中の車への様々な情報発信を行います。また、新色のクリスタルシルバーは圧倒的な存在感で、来店されるお客様の注目を集めます。



新製品情報

【 高温/高圧 ボイラー式洗浄機 スターフレッシャー[SF-2020Z] 】

2.2kWポンプモーターを2基搭載し、噴射圧力8MPaと毎時2,000Lの大量噴射を実現しました。

また、高い熱効率の密閉缶体式ボイラーを2基搭載し、連続運転でも温水温度の低下を防ぎながら、高温・高圧噴射で大型トラック、建設機械もパワフルに洗浄します。



新製品情報

【店舗用カラー表示機】

超高輝度LEDを使用し画面サイズ幅768mm×高1,152mmの店舗用カラー表示機を発売しました。

ピクセルピッチが6mmの美しい高精細表示を可能とし動画を中心にしたコンテンツで商品をアピールします。

また、ガソリンスタンド向けの価格表示もタブレット操作で簡単に切り替えることができます。



新製品情報

■ ライフ&サポート事業

【4L電気圧力鍋「ヘルシーマルチポット」】

昨年発売した3L電気圧力鍋に続き、今年8月に3～4人家族向けに4Lタイプを発売しました。

ボタンひとつで手軽に圧力調理ができる基本メニューの他、温度を細かく設定できる発酵調理や低温調理、煮込み調理など、圧力調理以外にも幅広くご利用いただける商品です。



株主優待制度のご案内

■ 株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンデンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券を贈呈いたします。

■ 発行基準

宿泊優待券は、毎年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株数	ご優待券
1,000株 ～ 1,999株	2 枚
2,000株 ～ 3,999株	3 枚
4,000株 ～ 9,999株	4 枚
10,000株以上	6 枚

■ 発行日

定時株主総会后、決議通知に同封いたします。

■ 有効期限

発行年の翌年6月30日



長野リンデンプラザホテル



本資料に関するお問い合わせ

エムケー精工株式会社

管理本部

TEL : 026-272-0601

E-mail : soumu@mkseiko.co.jp